

(西暦) 2021年 2月 8日

「病理組織検体を用いた子宮体癌の予後推定の可能性についての模索」に 対するご協力のお願い

研究責任者 棟方 哲 (市立函館病院 病理診断科)
〒041-0821 函館市港町1丁目10番1号
TEL 0138-43-2000

このたび、上記の対象となるご病気で過去に当院で治療した患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は通常診療と比較して一切ありません。また患者さんのプライバシー保護について最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、病理診断科 棟方 哲 までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

2009年以降当院にて手術を行い予後データのある子宮内膜症癌症例の患者様

2 研究課題名

病理組織検体を用いた子宮体癌の予後推定の可能性についての模索

3 本研究の意義、目的、方法

既に病理診断科に提出された病理組織検体を用いHE染色標本と免疫染色標本を作成し、腫瘍組織浸潤リンパ球の浸潤の程度やアポトーシス関連因子の発現の有無などから新しい腫瘍分類を試み予後予測が可能かをKaplan-Meier法を用いて検証します。尚、当研究は市立函館病院の研究倫理委員会の承認を受け、実施にあたり院長の許可を得ています。

4 研究実施機関

市立函館病院

5 研究責任者

市立函館病院病理診断科 棟方 哲

6 研究実施期間

研究倫理委員会承認日～2025年12月31日

7 協力をお願いする内容

本調査におきましては、対象となる患者さんの診療録、検査データ、画像データの記録を収集し調査致します。

8 プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報すべてを削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化）として使用します。

9 研究参加のメリット・デメリット

本研究は通常の治療のデータ収集を行うものであり、本研究に参加することで患者さんにメリットもデメリットもありません。

10 研究参加を拒否する権利

研究への参加を希望されない場合や途中で辞退される場合は相談窓口にご連絡ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

11 研究体制

市立函館病院病理診断科 棟方 哲, 下山 則彦, 櫛引 英恵

市立函館病院産婦人科 山下 剛, 浅野 拓也, 伊藤 崇博, 秋元 太志

12 利益相反について

申告すべき利益相反関係はありません。

13 相談窓口

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

連絡先：棟方 哲（市立函館病院病理診断科）

〒041-0821 函館市港町1丁目10番1号

TEL 0138-43-2000（代表）